



きやま

真庭市立木山小学校だより

R5年度 第13号

令和5年 7月11日(火)発行

3年生「ぶどうの粒間引き体験」

6月30日(金)に3年生が地元のぶどう農家の本多さんにお世話になり、粒間引きと袋かけの体験を行いました。最初に本多さんから粒間引きの仕方を教えていただきました。図を交えていねいに教えてください、子どもたちも真剣に聞いていました。

実際に作業になると、なかなか思うようにはできないようで、「どうしよう。」とか「ここを切ってもええかなあ。」などと不安の声が聞かれました。それでも、本多さんにサポートしてもらいながら、作業を進めていくと慣れてきたようで、楽しそうに取り組んでいる姿が見られました。

踏み台の上に乗ったので、お互いに台や体を支えるなど、協力をして作業に取り組みました。



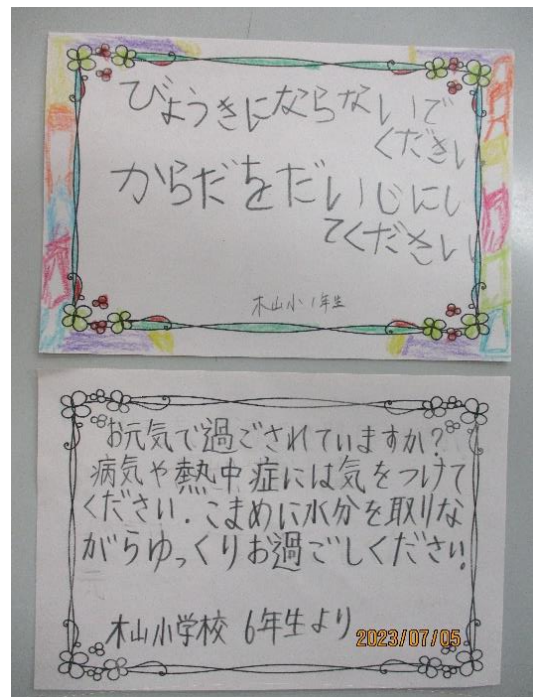
最後には、自分で粒間引きをしたぶどうに事前に絵を描いていた袋をかけて終了しました。今後は、本多さんにお世話になりながら、9月の中旬に収穫体験をさせていただく予定です。子どもたちと一緒に楽しみにしたいと思います。



敬老メッセージに思いをこめて

真庭市役所高齢者支援課からの要請を受け、高齢者の方へのメッセージカードを全校児童が書きました。このカードは、9月に贈られる敬老事業の記念品に添えて、お年寄りの方へ届けられるそうです。

お年寄りの方の手元に届くのはまだ先のことですが、子どもたちは暑さなどによる体調への影響を心配しつつ、自分が今がんばっていることや、健康に長生きしていただきたいという思いなどを丁寧に綴っていました。子どもたちのメッセージにこめた思いが、お年寄りの方に元気につながるといいなと思います。



4年生「クリーンセンター見学」

7月6日(木)に、4年生がコスモスクリーンセンターに見学に行ってきました。最初に可燃ゴミの焼却についての説明を聞き、実際にゴミを燃やしているところを見せてもらいました。1日に12トンものゴミが集まるそうで、焼却炉の中ではよくゴミが燃えるようにクレーンを使って、かき混ぜ、空気を含ませてから燃やしているそうです。燃えているときの温度は、最高で900度になるとのことで、子どもたちもその様子を観察しながら、ガラス越しに伝わってくる熱さに驚いていました。

また不燃物の収集についても説明を受けました。収集したゴミの多くは再利用されているそうで、灰も含めてリサイクルに利用しているそうです。実際にペットボトルをリサイクルして作ったTシャツもを見せてもらいました。子どもたちは、それぞれ触った感触を確認しながら、どうやったらできるのかと不思議そうでした。

全ての説明を受けた後には、子どもたちが熱心に質問をしていました。焼却炉やゴミの種類、働いている人についてなど、時間が足りないくらい多くの質問をして、学習を深めていました。最後にクリーンセンターの方が話しておられたのは、「瓶の色分けなど分別をすることにより、ゴミも資源となります。協力をしてください。」ということでした。子どもたちもその言葉をしっかり受け止め、今後、ゴミの分別を意識しながら行動してくれると願っています。



1学期分全校テストのお知らせ

本校では、「進んで学ぶ子」の育成と基礎学力向上をめざし、全校テストを実施しています。これは、予め指定した漢字ドリル・計算ドリルの範囲から、各5問ずつ出題し、100点満点で採点・返却するものです。

今年度1学期分の漢字(1年生はひらがな)・計算ドリルから出題する全校テストを、2学期始業式8月25日(金)に行うこととします。1学期分はこの回だけですので出題範囲は広いですが、満点が取れば表彰します。出題範囲は各学年の通信でお知らせしますので、夏休みの間に自主学習としてしっかりと復習に取り組んでほしいと思います。

2学期全校テストは、運動会終了後から順次実施する予定です。



10月の参観日の期日を変更させていただきます

年度初めの予定では10月20日(金)としておりました参観日を、都合により10月17日(火)へ変更させていただくこととしました。日程等には変更なく、午前中3校時授業の後給食・昼休み・掃除をはさみ、4校時授業参観後、学級懇談を予定しています。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご対応いただきますようよろしくお願いいたします。